

3 - 15 地殻活動総合観測線（南関東）傾斜記録(1)

Tilt Records Obtained from the Monitoring Chain of Crustal Activities in the South-Kanto District

東大地震研究所 地殻変動研究部門

富士川地殻変動観測所

油壺地殻変動観測所

Division of Crustal Movement Studies, Fujigawa Crustal Movement Observatory and Aburatsubo Crustal Movement Observatory, Earthquake Research Institute, University of Tokyo

第4次地震予知研究計画によって地震研究所では南関東地域に地殻活動総合観測線を設置した(図1)¹⁾。今回は1982年1月から10月迄の地殻変動日平均記録及び日雨量記録について報告する。各観測点における観測計器の構成は以下の通り。

岩本山, 真鶴, 松田, 清川, 相模原, 高津, 検見川

坑井型傾斜計 (BHT; 25 cm単振子型) 2成分

ブイ型傾斜計 (BUOY; 30 m逆さ振子型) 2成分²⁾

内浦

水管傾斜計 (EW18m, NS 10 m) 2成分

油壺

水管傾斜計 (40 m) 2成分

水晶管伸縮計 (40 m) 2成分

データの欠測や飛びは手作業によって補正した。期間を通じて欠測が多く長期的変動については何ともいえないが、検見川を除いては初期ドリフトがかなりおさまっている様である。

1982年11月には自動零調回路を導入して欠測が少なくなる様に改良を行った。坑井型, ブイ型傾斜計には降雨の影響が非常に大きく表われる様である(真鶴, 高津), これに比べ, 内浦, 油壺の水管傾斜計はかなり安定している様である。

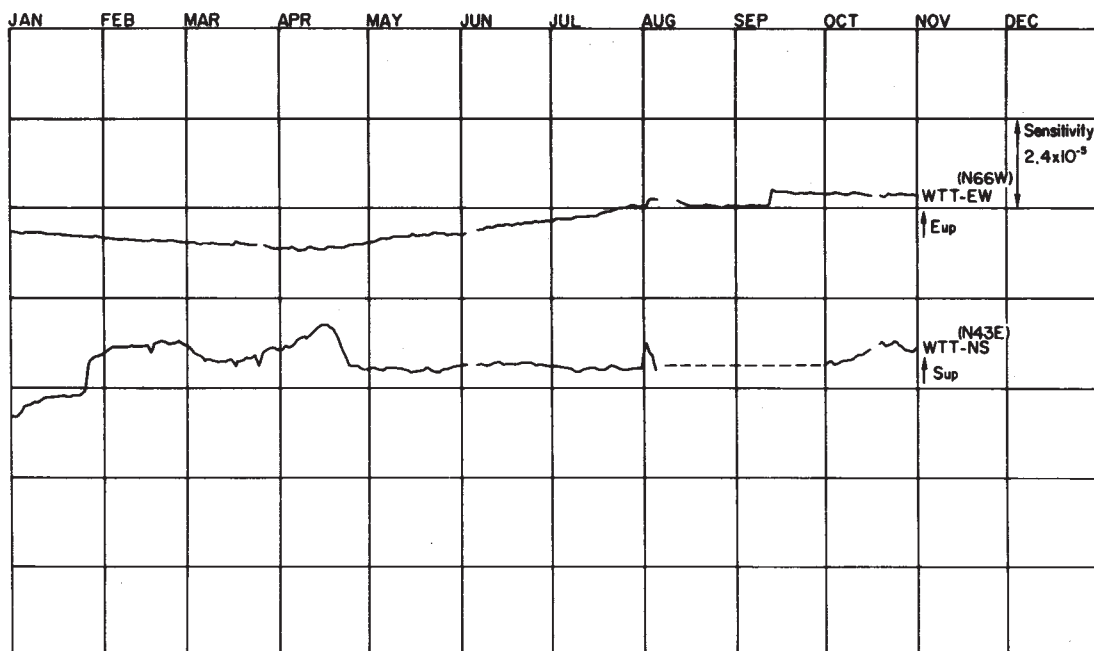
なお, 岩本山 BHT-EW のポラリティーには疑問があるので近く調査を行う予定である。

参 考 文 献

1) 東京大学地震研究所 他: 地殻活動総合観測線(南関東)について, 連絡会報, **25** (1981), 82-87.

2) 笠原慶一 他: 小田原観測坑井とブイ傾斜計, 連絡会報, **10** (1973), 51-56.

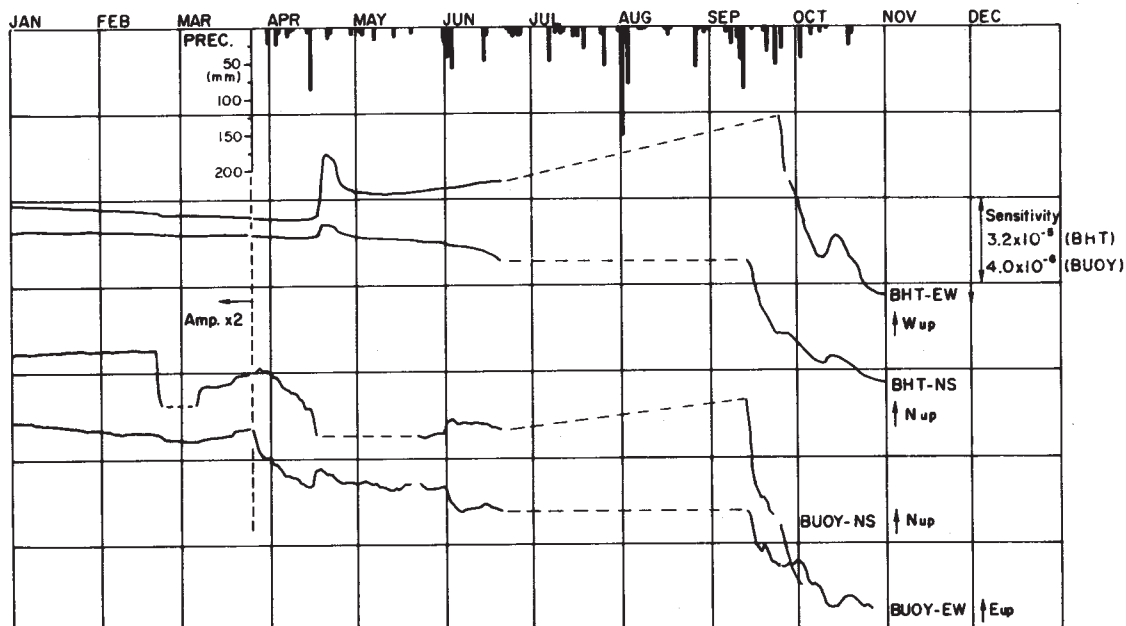
UCHIURA 1982



第 2 図(2) 内浦観測点日平均傾斜記録

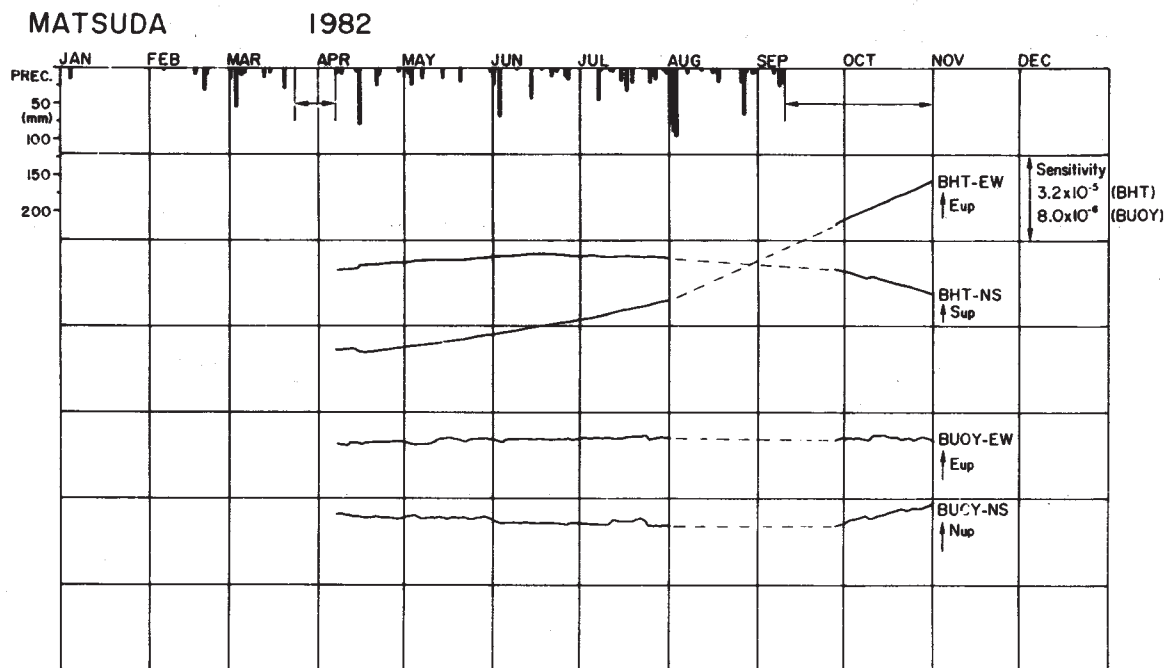
Fig. 2(2) Uchiura station: daily mean tilt records.

MANAZURU 1982



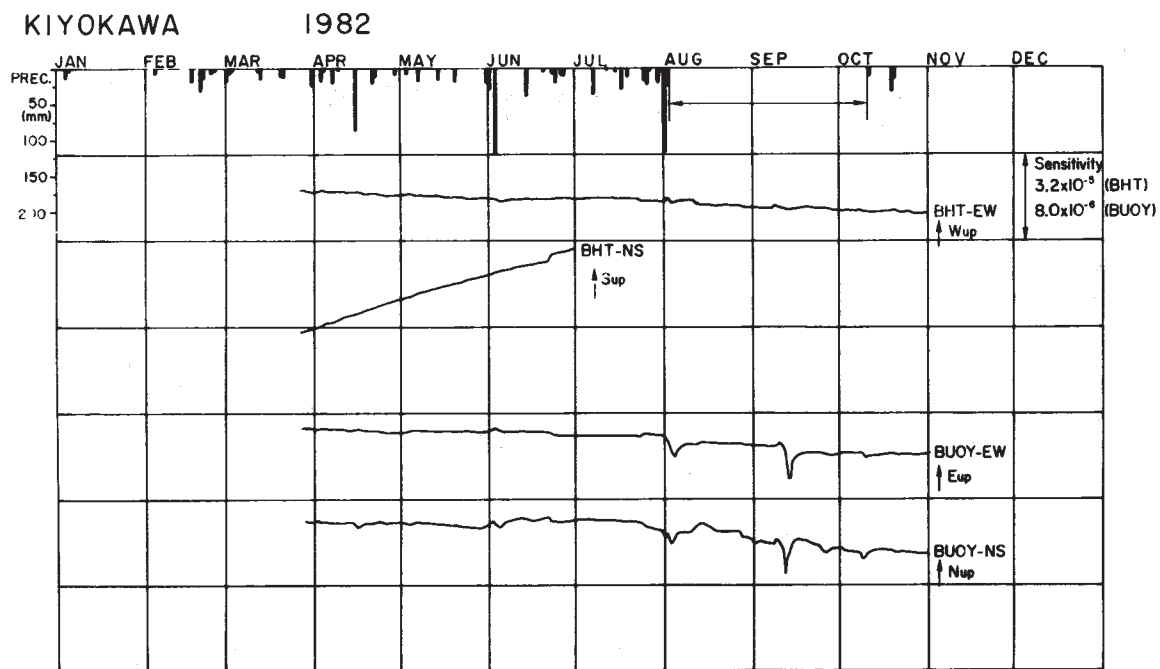
第 2 図(3) 真鶴観測点日平均傾斜記録及び日雨量記録

Fig. 2(3) Manazuru station: daily mean tilt records and daily precipitations.



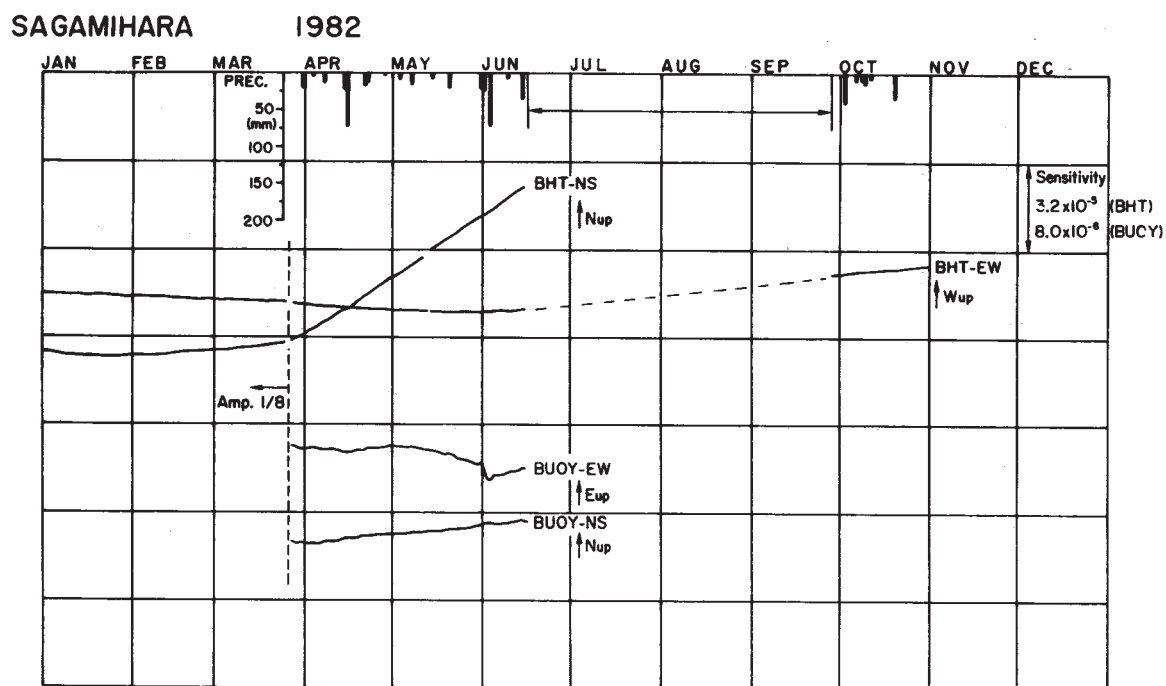
第 2 図(4) 松田観測点日平均傾斜記録及び日雨量記録

Fig. 2(4) Matsuda station: daily mean tilt records and daily precipitations.



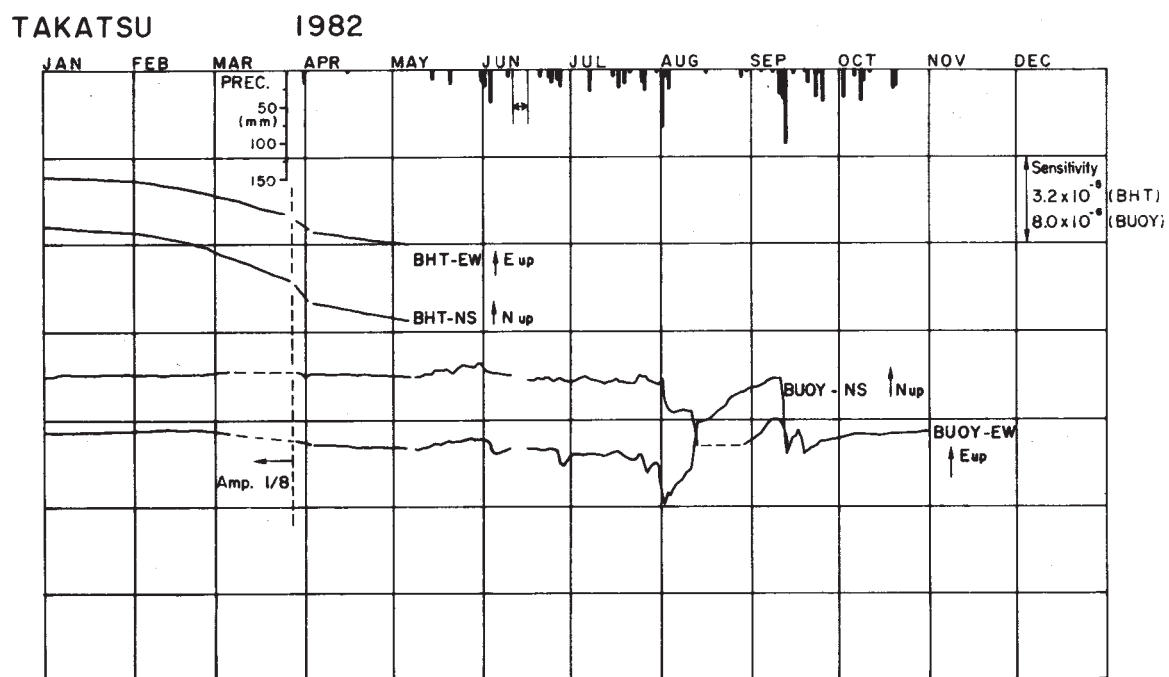
第 2 図(5) 清川観測点日平均傾斜記録及び日雨量記録

Fig. 2(5) Kiyokawa station: daily mean tilt records and daily precipitations.



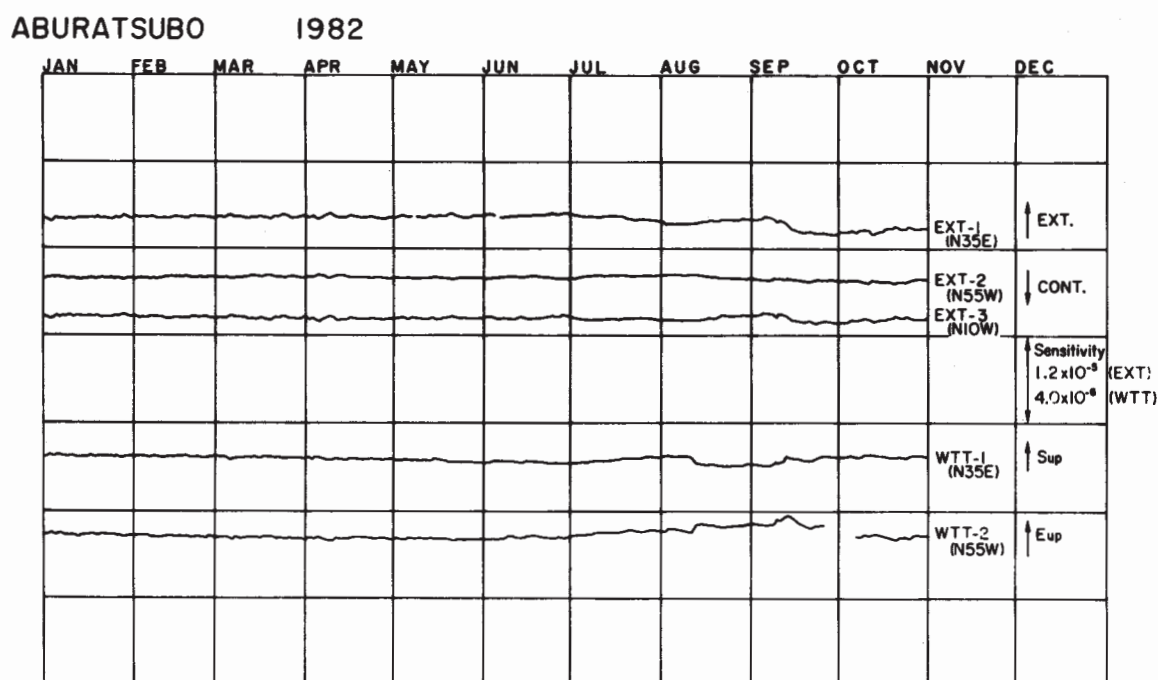
第2図(6) 相模原観測点日平均傾斜記録及び日雨量記録

Fig. 2(6) Sagamihara station: daily mean tilt records and daily precipitations.



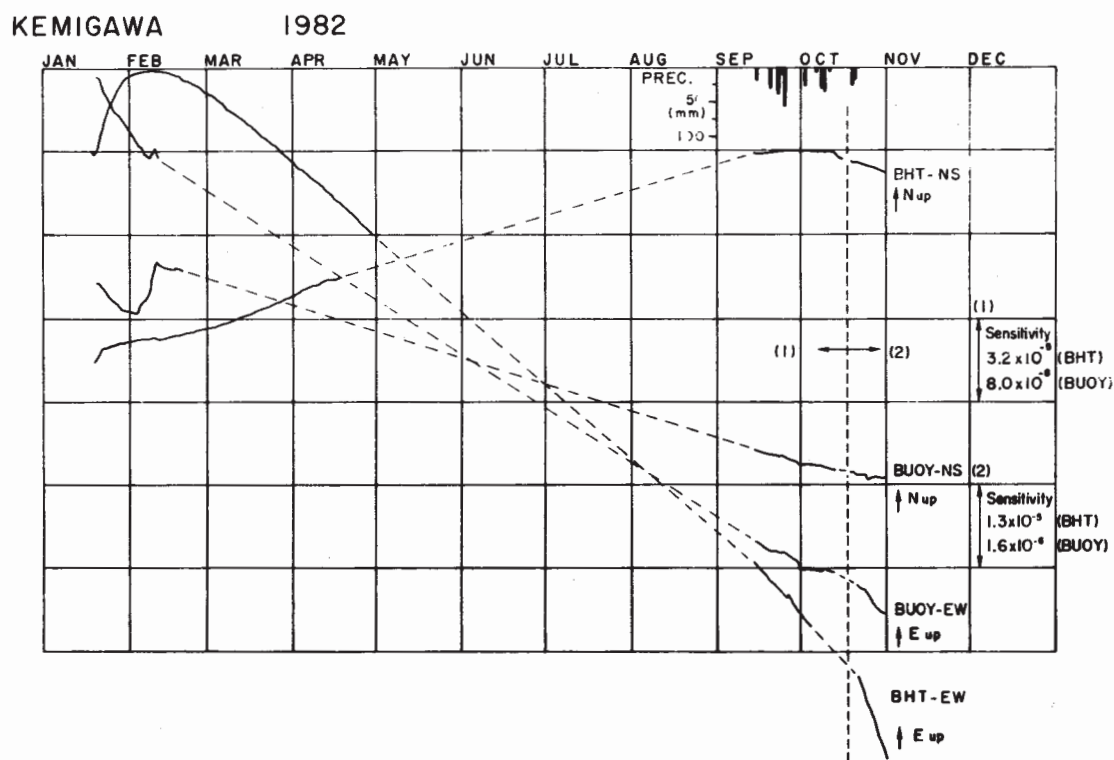
第2図(7) 高津観測点日平均傾斜記録及び日雨量記録

Fig. 2(7) Takatsu station: daily mean tilt records and daily precipitations.



第2図(8) 油壺観測所日平均傾斜・伸縮記録

Fig. 2(8) Aburatsubo station: daily mean tilt and strain records.



第2図(9) 検見川観測点日平均傾斜記録及び日雨量記録

Fig. 2(9) Kemigawa station: daily mean tilt records and daily precipitations.